

令和3年大磯町議会

3月定例会一般質問（2月25日・26日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1</p> <p>11番 吉川 重雄議員 （80分） 9:05～10:25</p>	<p>1. 中崎町政は町民の負託に応えているか 中崎久雄氏が町長に就任してから10年が経過した。その間、総括質疑・一般質問で問い資してきた幾多の事案でも明白なように、町民の行政への「信頼」は大きく失墜してきた。 その中でも特に、大磯こゆるぎハイツのプロパン庫に係る住民訴訟の判決は、税務行政に大きな汚点を付ける結果となった。 中崎町長は、町民の負託に応えているのか。行政の責任者としての自覚があるのか。 リーダーシップを発揮し、町政運営を全うしていると考えているのか。町長の見解を問う。</p> <p>2. 交通安全対策が進捗しない原因は何か 3年前に生沢区長等から交通安全対策の要望がなされた。その内容は、県道63号（相模原大磯線）を伊勢原方面から来たバスが、東の池前の「生沢」バス停に停車する際、バスを追い越す自動車が多く、歩行者や対向車に危険が及ぶ状況にあることから、バスの停車する場所を確保する対策を講じていただきたいというものであった。ところが、3年経過しても一向にバスの駐車場所の改善が実施されない原因は何か。 町長の見解を問う。</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症への対応は十分か 町民の新型コロナウイルス感染者が昨年末から急増している。このような状況下で、多くの町民から「正しい情報がわからない」、「情報が得られない」ことによる不安、心配は極限に達している。町長は就任以来、ことあるごとに「私は医者である。」と言い続けてきたではなかったか。コロナ禍における中崎町長の行政対応は不十分である。 町長の見解を問う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
<p>2</p> <p>3番 竹内恵美子議員 （45分） 10:40～11:25</p>	<p>1. 旧吉田茂邸について 旧吉田茂邸が再建され、公開され、この4月には5年目を迎える。 そこで、以前民間活力を導入し、施設運営をしていくと報告があったが、その後の民間への委託事業の進捗状況はいかがか。</p> <p>2. 相模の国「国府祭」について 相模の国「国府祭」の調査事業は、国や県の補助事業として、平成28年度からの事業開始以来、6年目を迎えた。このコロナ禍で中止となった昨年の「国府祭」に国が視察した後、「国府祭」の国指定が検討されるはずだったが、進捗状況はいかがか。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p>

	<p>3. 大磯町空家等対策計画について</p> <p>大磯町空家等対策計画の素案ができたということだが、今まで指針で運用してきたが、ここで法定計画にするという説明が1月28日にあった。そこで、運用等についてはいかがか。</p>	町長
<p>3</p> <p>5番 清田 文雄議員 (40分) 11:30~12:10</p>	<p>1. 令和3年度大磯町防災訓練計画等について</p> <p>今年度(令和2年度)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、6月や11月に計画されていた総合防災訓練や津波・土砂災害避難訓練が実施できなかった。また、年3回行われている大磯町防災ミーティングも、令和2年1月に開かれて以降は、顔を合わせた話し合いができない状況となった。防災ミーティングでは毎年、各地区の自主防災会や関連機関が各種訓練の取り組み状況や振り返りを行い、次年度の訓練計画などを決定してきた。令和2年度は、熊本県をはじめとし国内各地で大きな被害をもたらした「7月豪雨」のような、大きな災害は大磯町ではなかったが、コロナ禍における避難所の感染症対策等、新たな課題も見つかった。また、本年は平成23年(2011年)3月11日の東日本大震災から10年を迎える。</p> <p>そこで、改めてこのコロナ禍の状況において令和3年度の災害対策についての取り組みについて質問する。</p> <p>(1) 令和3年度の訓練計画(町民向け、その他各種訓練)について。 (2) 避難所等に配布されている「おいそ防災・行政ナビ」のタブレット端末の今後の展開について。 (3) 神奈川県において指定が進められている「土砂災害警戒区域等」や「津波災害警戒区域」の指定後のハザードマップ改定などの対応は。</p>	町長
<p>4</p> <p>9番 二宮加寿子議員 (55分) 13:10~14:05</p>	<p>1. 地域交通をどう維持するか</p> <p>鉄道やバスなどを含む交通手段の中で自動車を利用する割合は平日6割、休日7割を超えるが、高齢者による事故が影響して運転免許を自主返納する高齢者も増加傾向であるため、地域の公共交通は今後も役割が大きいとみられている。そこで伺う。</p> <p>(1) 鉄道やバスやタクシー等の従来の公共交通に加え、自家用有償旅客運送や福祉輸送、スクールバス、病院の送迎サービスなど「地域の輸送資源」を活用して、地域交通をどのように維持されていくのか。 (2) 免許返納の高齢者の移動手段の確保策は。 (3) 介護予防・日常生活支援総合事業における移動支援にかかるサービスの拡充は。</p> <p>2. 空家などの利活用の方針や政策について</p> <p>大磯町第五次総合計画やまちづくり基本計画の中で空家対策があげられているが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今後の空家対策の方針のテーマと課題は。 (2) 利活用を拡大するための支援策は。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

また、内容は2015年（平成27年）水防法改正により最大雨量が「数十年から100年に一度」級の旧基準から「千年に一度」級に引き上げられ、現行基準に対応した洪水ハザードマップの作成が求められていると新聞に書いてあった。

そこで、以下4問を問いたい。

- (1) もともと県からいつまでに新基準による洪水ハザードマップを作るよう要請を受けていたのか。
- (2) 大磯町は洪水ハザードマップを令和3年度に作成するとのことであるが、神奈川県下の54の市区町村のうち、令和元年度末までに何カ所の市区町村が作成したのか、また令和2年度末までに何カ所作成する予定と聞いているのか。
- (3) 神奈川県のHPによると、今回のハザードマップは想定最大規模の降雨による河川の氾濫を前提として予測したもので、氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に浸水が想定される区域の方々が速やかに避難して頂くために作成するものとある。このような町民の生命・財産に重大な影響を与える情報である洪水ハザードマップを何故早急に作成しないのか。データはいつ頃入手したのか。
- (4) 想定最大規模の降雨による河川の氾濫を前提に予測したものとあるが、それによるとおよそどの地区が浸水するのか、またおよそ何軒ほどの住宅が浸水する想定か。

2. 地域会館について

- (1) 謄本によると高麗区民会館の土地は昭和51年と令和元年に交換により大磯町の所有になっている。南下町公民館の土地は昭和51年大磯町に寄附されている。黒岩公民館の土地は平成5年に大磯町に寄附されている。これは事実か。
- (2) 黒岩地区の方々に聞くと、「建て替えは、土地の寄附をした後のことと町から言われた。」とのことである。今まで他の地区の地域会館が建替えるたび、その次と言われていたとの話を聞いているが、すでに土地を寄附してから28年になる。築49年になり、木造建築の耐用年数を超えているにもかかわらず何故建替えがされなかったのか。
もう建替えはしないと昨年町長から言われたとのことであるが、事実か。事実とすれば散々建替えを延ばしておいてご破算とは、どこまで町民をないがしろにすれば気が済むのかと言いたいが、明確な説明を聞きたい。
- (3) 南下町公民館と高麗区民会館は交換あるいは寄附により大磯町に所有権が移転して44年になるが、建替え要望を聞いているかを確認したい。

3. 新庁舎建替えについて

- (1) 平成30年3月に第1期公共施設等個別施設計画が作成されたが、この10年にかかる維持・建替え費用は概算いくらと見込んでいたか。
- (2) 平成28年6月の議会において、役場庁舎の安全性については計算IS値以上の耐震性があり大丈夫と答弁していたにも関わらず、ここに

町 長

町 長

	<p>きて急に安全ではないと言い出した理由を納得のいくように明確な説明を求める。</p> <p>(3) 庁舎建設が他の公共施設の維持・建替えより優先度が高いという明確な説明をして頂きたい。</p> <p>4. 町民の細やかな要望や疑問にどう応えるのか</p> <p>(1) 新型コロナ感染者が大磯町でも急速に増加している。その詳細情報を知りたいという町民の要望にどう応えるか。また予防接種の町の体制や進捗状況について問う。</p> <p>(2) 中学校給食が白紙になったと聞いたが事実か。事実とすればその理由を明確に説明頂きたい。</p>	町長 教育長
質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
8 6番 吉川 諭議員 (80分) 9:00~10:20	<p>1. ICT活用の進捗と今後の展開について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ICTをどううまく活用するかが、民間においても行政においても大変重要な課題となっている。昨年6月の一般質問においては、主に行政におけるICT活用について質問をした。その後の町の取り組みと、今後の展望について以下の点を問う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い神奈川県にも再び非常事態宣言が発出された。行政事務におけるICT活用はどのように改善されたか。</p> <p>(2) 防災や災害時におけるICT技術を活用した安心・安全の確保についてどう考え、どのように取り組むか。</p> <p>(3) 行政事務以外でも町民が積極的にICTを用いて情報を得たり、交流するための仕組みづくりが必要と考える。特に多くの町民が利用する公共施設への公衆無線LAN(Wi-Fi)の設置や高齢者のデジタル活用支援などは町が積極的に取り組むべき事業であると考え、どう考え、どのように取り組むか。</p> <p>(4) 町立小・中学校ではこの4月から、学校教育にもタブレットが配布され、教育分野でもICTの活用が進められることになる。機材やWi-Fiなどの環境面の整備、教育情報セキュリティポリシーは万全か。</p> <p>(5) 教育分野においては、ネット依存やゲーム依存、SNSに端を発するいじめや引きこもりの問題がある。町内の現状はどうなっているか。また、学校や家庭におけるデジタルリテラシーについて町としてどう考え、どのように取り組むか。</p>	町長 教育長
9 12番 飯田 修司議員 (80分) 10:40~12:00	<p>1. 大磯町の行政は町民の方向を向かず、どちらの方向を見て行なっているのか</p> <p>(1) 今春オープンする大磯港の施設について。</p> <p>3. 5億円の投資額を毎年、少しでも回収できないか。物品売り上げ手数料、レストランの賃料等、大きな額の収入が見込めると思うが</p>	町長 教育長

	<p>どうか。</p> <p>(2) 国府本郷西小磯1号線整備事業について、この道路で恩恵を受けるのは誰か。</p> <p>(3) 大磯小学校・大磯中学校の学校給食と校舎の問題について。 1月8日(金)のタウンニュース誌上において「中学校給食の再開に向けて協議を進めてきたがその中で老朽化の進む校舎の長寿命化を望む声が大きくなった。」とあるが、声とは誰が言っているのか。</p> <p>(4) 駅前整備計画について。 「町道認定問題」「昭和62年の建運協定」を持ち出し、駅前整備計画の難しさを演出したが、この問題をどう解決していくのか。</p> <p>(5) 明治記念大磯邸園について。 いつも「町の負担なく、土地の購入と整備を行なう」とあるが、来年度も草刈りに840万円とあり、 令和元年度 決算額 11億8,000万円 令和2年度 予算額 1億200万円 令和3年度 〃 9億2,500万円 年4,000万円の固定資産税の減収分を合わせると23億円の投入となり、今後も維持・管理に町にとって大きな負担となることは明らかであるが、問題と思わないのか。</p>	
<p>10 10番 渡辺 順子議員 (80分) 13:00~14:20</p>	<p>1. 駅前広場計画修正計画(案)について 令和3年1月28日に開催された総務建設常任委員会協議会で大磯駅前広場修正計画の検討状況について報告があり、修正計画(案)と現状の広場を比較した図面があった。 大磯駅前用地利活用検討委員会からの答申に基づいて修正したとの説明だった。</p> <p>(1) 答申はどのような内容であったか。 (2) 町はこれまでA案を基本に修正すると説明していた。その経緯から考えればA案との変更点を示すべきではないか。 (3) 駅周辺の景観を大きく変える修正であり、新たな計画として提出すべきと考えるが。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症の影響に関して再度問う 昨年12月議会で新型コロナウイルス感染症の影響について一般質問をした時点で、大磯町の感染者の累計は20数名であった。その後、急激に感染が拡大し、2月3日現在90名を超えた。12月に引き続き以下の点を質問する。</p> <p>(1) 感染拡大の防止には正しい情報を共有することが重要である。感染状況の公表方法を統一すべきと考えるが、保健福祉事務所の公表方法が統一されない理由は何か。 (2) 急激に感染が拡大した要因の分析は行ったか。町はどのような対応をしたか。 (3) 新学期に向け教育現場等でのPCR検査を検討すると言っていたが、結果はどうであったか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

	(4) 感染拡大に伴い多くの会議やイベントが中止になった。中止を決めた基準は何か。町民から生活困窮者への支援、例えばフードドライブなどは中止すべきではなかったとの意見をもらっているが。	
11 15番 柴崎 茂議員 (80 分) 14:40～16:00	<p>1. 当然のことだが、我々は何のためにここに集っているか</p> <p>(1) 中学校給食はどうするつもりか。</p> <p>(2) 県道 63 号線（相模原大磯線）の大磯町月京の押ボタン信号機（K33-33）について、その後日原修大磯警察署長と高橋洋交通課長は、何か大磯町に言ってきたか。結局、山本仁県警本部長にやめていただくのが筋ではないか。</p> <p>(3) 2025 年には団塊の世代といわれる昭和 22～24 年生まれの約 800 万人が全員後期高齢者になる。当然孤独死その他特有の問題が社会問題になる年と予想される。町はどのように対応していくつもりか。4 月からの第八期高齢者福祉計画・介護保険事業計画にどのように反映したか。</p>	町 長
12 1番 鈴木 京子議員 (80 分) 16:20～17:40	<p>1. 町政運営における優先順位とは何か</p> <p>中学校給食の自校方式の実施時期を白紙にした理由が校舎の長寿命化の優先にあったことを地域紙で知り、驚いた。政策決定のうえ、基本設計委託を計上したことを棚に上げ、長寿命化の要望を持ち出すのはもってのほかと考える。校舎の大規模改修と並行して給食室の建設が可能と判断し、自ら計上したのではなかったか。</p> <p>優先順位は、誰がどのように決めるのか。決定にあたり必要な観点は何と考えるか。選挙公約と民意の反映、財政運営の関係はどうなっているのか。以上、図式を用いて説明いただきたい。政策決定はどのような手順を踏み、決定に至るのか。計画や事業の修正はどのような時に、どのような理由で行うのか。町民から意見を聴く際、情報提供の内容は適切かつ十分か。計画によって町民が困る事態は起こらないと考えるか。</p> <p>政策会議の内容も不明瞭で、優先順位に関する基本的な考え方が見えない。住民合意のない事業を推進する町政運営で失うものは、税金と町民や職員の労力、信頼関係と考えるが、町長の所見を問う。</p> <p>なお、今回取り上げる計画と事業は総合計画実施計画、中学校給食、公共施設等総合管理計画及び個別計画、定員適正化計画、大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画、大磯港みなとオアシス（賑わい交流施設）整備計画基本構想及び推進事業、明治記念大磯邸園整備事業である。</p>	町 長

12 名 22 問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。